

# 2021 年度 シラバス変更科目一覧

2021 年 3 月 22 日現在

## ○ 現代社会学科

### 目 次

アジア社会論 A .....	2
アジア社会論 B .....	4
応用社会学 I .....	6
応用社会学 II .....	9
現代経済論.....	11
地域経済論.....	13
社会学特論 II .....	15

区 分	国際コミュニケーション科目	担当教員	川越 道子		
授業科目	アジア社会論A			授業形態	
英 訳	Asian Society A			単独	
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	2 単位
<b>【授業の目的】</b> 東南アジア地域の地理、文化、宗教、歴史について基礎知識を得ることを目的とする。					
<b>【授業の到達目標】</b> 1. 東南アジアについて関心を高め、東南アジア地域に関する基礎知識を身につける。 2. 1をふまえて、東南アジアと日本の歴史及び関係について理解を深める。					
<b>【授業の概要】</b> 文化、歴史、経済など多方面において日本と関わりの深い東南アジア地域を取り上げ、近代以前から現代までの歴史に沿って、東南アジアと日本の関係や東南アジア諸国の現状について解説する。					
<b>【授業計画と準備学修】</b>					
第 1回 イン트로ダクション：私たちの暮らしと東南アジア ○事前学修 シラバスを読んでおく ○事後学修 イン트로ダクションでの内容について理解を深めておく					
第 2回 東南アジアの地理 ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 3回 東南アジアの自然環境 ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 4回 近代以前の東南アジア ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 5回 欧米による植民地支配① ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 6回 欧米による植民地支配② ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 7回 東南アジアとアジア太平洋戦争① ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 8回 東南アジアとアジア太平洋戦争② ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 9回 中間まとめ ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					

<b>第10回 脱植民地化と国家建設①</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>第11回 脱植民地化と国家建設②</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>第12回 ベトナム戦争と東南アジア①</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>第13回 ベトナム戦争と東南アジア②</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>第14回 新冷戦と東南アジア</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>第15回 まとめ</b> ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む	
<b>【テキスト】</b> 特に指定しない。事前に資料を配布する。	
<b>【参考書・参考資料等】</b> ・中野亜里編『入門 東南アジア現代政治史』原書房(2010) ・大阪大学歴史教育研究会『市民のための世界史』大阪大学出版会(2014)	
<b>【成績評価の方法等】</b> 授業への参加態度(30%) 課題提出(10%) 中間テスト(30%) 期末テスト(30%) で評価する。	評価が「合」
<b>【履修要件等】</b>	

区 分	国際コミュニケーション科目	担当教員	川越 道子		
授業科目	アジア社会論B				授業形態
英 訳	Asian Society B				単独
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位
<b>【授業の目的】</b> 東南アジア諸国の文化、歴史、政治について基礎知識を得ることを目的とする。					
<b>【授業の到達目標】</b> 1. 東南アジア諸国の文化、歴史、政治に関する基礎知識を身につける。 2. 東南アジア諸国の文化、歴史、政治について自分の言葉で説明できるようにする。					
<b>【授業の概要】</b> 近年、経済面や外交面で日本と緊密な関係にある東南アジア諸国を取り上げて、とくに脱植民地化以降の国家建設や民主化の動きに着目しながら、東南アジア諸国の政治や現在の社会について解説する。					
<b>【授業計画と準備学修】</b>					
第 1回 イン트로ダクション ○事前学修 シラバスを読んでおく ○事後学修 イン트로ダクションでの内容について理解を深めておく					
第 2回 ASEANの形成と発展① ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 3回 ASEANの形成と発展② ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 4回 東南アジアの新冷戦①：カンボジアの紛争 ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 5回 東南アジアの新冷戦②：社会主義と民主主義 ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 6回 国家建設と開発独裁①：シンガポールとマレーシア ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 7回 国家建設と開発独裁②：シンガポールとマレーシア ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 8回 中間まとめ ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 9回 国家建設と開発独裁③：独立後のインドネシア ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					

<p>第10回 国家建設と開発独裁④：インドネシアの政治</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第11回 国家建設と開発独裁⑤：タイの歴史と政治</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第12回 国家建設と開発独裁⑥：フィリピンの歴史と政治</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第13回 東南アジアの民主化①：ミャンマーの歴史と政治</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第14回 東南アジアの民主化②：市民社会の目覚め</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第15回 まとめ</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。事前に資料を配布する。</p>	
<p>【参考書・参考資料等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中野亜里編『入門東南アジア現代政治史』原書房(2010)</li> <li>・大阪大学歴史教育研究会『市民のための世界史』大阪大学出版会(2014)</li> </ul>	
<p>【成績評価の方法等】</p> <p>授業への参加態度(30%) 課題提出(10%) 発表(10%) 中間テスト(20%) 期末テスト(30%) で評価する。</p>	<p>評価が「合」</p>
<p>【履修要件等】</p>	

区 分	専門基礎科目	担当教員	番匠 健一		
授業科目	応用社会学 I				授業形態
英 訳	Applied Sociology I				単独
配当年次	3年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位
<b>【授業の目的】</b>					
2年次までの社会学の基礎知識をベースに、現代世界における様々な事象を社会学的の視点を応用して深めることを目的とする。					
<b>【授業の到達目標】</b>					
社会学の理論や方法を学ぶことで、自身で社会問題を分析できる能力を身につけることを目標とする。					
<b>【授業の概要】</b>					
<p>21世紀という新しい時代に入り、この世界の在り方が大きな転換をむかえている。国民国家を基本単位とした近代世界の枠組みが大きく揺らいでいるためだ。そしてこの転換を促しているプロセスはグローバリゼーションという言葉でくくられている一連の状況である。</p> <p>この授業では、グローバリゼーションとして進行している状況に焦点を当て、どのような現象や問題が起こっているのかを理解し、グローバル化する世界を的確に認識するための社会学的な理論と概念を身につける。そのうえで、21世紀の世界構造の変化は、テレビやインターネットのなかで扱われる話題ではなく、私たちの暮らしや生き方に直結するものであることを考えたい。大まかに3つほどの社会問題のトピックを取り上げ、様々な社会学の理論とともに紹介する。(1)戦争とテロリズムでは、9.11（セプテンバーイレブン）、アフガニスタン・イラク戦争と復興、(2)ヘイトスピーチと人種主義では、日本の在特会、ギリシアやイタリアの難民流入の最前線、フランスのシャルリー・エブド事件と右派の台頭、BLM運動、(3)水、気候変動、エコロジーでは、ウォータービジネスの実態やヴァーチャルウォーター、新自由主義と民営化、地球環境問題などを取り上げる。</p>					
<b>【授業計画と準備学修】</b>					
<p>第 1回 インTRODクシヨン</p> <p>○事前学修 シラバスの「授業目的」「到達目標」「概要」を読んでおくこと。</p> <p>○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。</p>					
<p>第 2回 戦争とテロリズムの社会学①</p> <p>○事前学修 自分が抱く戦争とテロリズムについてのイメージや知識を確認しておくこと</p> <p>○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。</p>					
<p>第 3回 戦争とテロリズムの社会学②</p> <p>○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。</p> <p>○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。</p>					
<p>第 4回 戦争とテロリズムの社会学③</p> <p>○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。</p> <p>○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。</p>					
<p>第 5回 戦争とテロリズムの社会学④</p> <p>○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。</p> <p>○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。</p>					

第 6回 ヘイトスピーチと人種主義の社会学①  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第 7回 ヘイトスピーチと人種主義の社会学②  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第 8回 ヘイトスピーチと人種主義の社会学③  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第 9回 ヘイトスピーチと人種主義の社会学④  
○事前学修 これまでの授業で学んだことを振り返り、自分なりの意見をまとめておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第10回 水、気候変動、エコロジー①  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第11回 水、気候変動、エコロジー②  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第12回 水、気候変動、エコロジー③  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第13回 水、気候変動、エコロジー④  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第14回 水、気候変動、エコロジー⑤  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第15回 振り返りとまとめ  
○事前学修 これまでの授業で学んだことを振り返り、自分なりの意見をまとめておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

期末試験

**【テキスト】**

特に指定しない。授業で使用する教材となる資料やテキストは配布する。

**【参考書・参考資料等】**

中村哲『空爆と「復興」—アフガン最前線報告』石風社

ラジブ・チャンドラセカン『グリーンゾーン』集英社インターナショナル

鹿島茂『シャルリ・エブド事件を考える』白水社  
ナオミ・クライン『ショックドクトリン』岩波書店  
ナオミ・クライン『地球が燃えている』大月書店  
ヴァンダナ・シヴァ『ウォーター・ウォーズ』緑風出版

**【成績評価の方法等】**

毎回のコメントペーパー（40%）、レポート課題提出(30%)、授業への取り組み(30%)

評価が「合」

**【履修要件等】**

出席するだけでなく、毎回の授業内容を踏まえてコメントペーパーを「しっかり」書く。  
レポートは、ガイダンスで指示するように出典を明記し、学術的観点から作成する。



区 分	専門基礎科目	担当教員	川越 道子		
授業科目	応用社会学Ⅱ				授業形態
英 訳	Applied SociologyⅡ				単独
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2 単位
<b>【授業の目的】</b>					
2年次までの社会学の学習をベースとして、社会学的視点をより広範に応用することにより、様々な社会問題について考察を深めることを目的とする。					
<b>【授業の到達目標】</b>					
社会学や他の学問領域の理論や手法を用いて、身近な社会の問題を発見、分析する力と、その問題解決を実現する実践力を身につける。					
<b>【授業の概要】</b>					
私たちの日常生活に遍在する暴力や力関係について、「マイノリティ」「戦争」「見えない差別」「労働」などのテーマを取り上げて、理論面と実践面から理解を深める。 この授業では、講義と並行して、グループワークやディスカッションを取り入れた受講生参加型の授業を行う。積極的かつ主体的に授業に参加すること。					
<b>【授業計画と準備学修】</b>					
第 1回 イン트로ダクション ○事前学修 シラバスに目を通しておく ○事後学修 イン트로ダクションでの内容について理解を深めておく					
第 2回 マイノリティとは誰か ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 3回 マイノリティとマジョリティ①：グループワークとディスカッション ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 4回 マイノリティとマジョリティ② ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 5回 平和と暴力①：グループワークとディスカッション ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 6回 平和と暴力②：戦争を考えるⅠ ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 7回 平和と暴力③：戦争を考えるⅡ ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 8回 中間まとめ ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					
第 9回 差別と平等①：グループワークとディスカッション ○事前学修 指示した資料に目を通しておく ○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む					

<p>第10回 差別と平等②：見えない差別 I</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第11回 差別と平等③：見えない差別 II</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第12回 対立を解決するには①：グループワークとディスカッション</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第13回 対立を解決するには②：労働を考える I</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第14回 対立を解決するには③：労働を考える II</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>第15回 まとめ</p> <p>○事前学修 指示した資料に目を通しておく</p> <p>○事後学修 授業中に指示された課題に取り組む</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しない。事前に資料を配布する。</p>	
<p>【参考書・参考資料等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨハン・ガルトゥング『ガルトゥング平和学の基礎』法律文化社(2019)</li> <li>・伊藤洋志『ナリワイをつくる：人生を盗まれない働きかた』東京書籍(2012)</li> </ul>	
<p>【成績評価の方法等】</p> <p>授業、グループワークへの参加態度 (50%) 課題提出 (20%) 最終レポート (30%) で評価する。</p>	<p>評価が「合」</p>
<p>【履修要件等】</p>	

区 分	ソーシャルビジネス科目	担当教員	西手 満昭			
授業科目	現代経済論					授業形態
英 訳	Contemporary Economics					単独
配当年次	2年次 前期	必選別	選択	単位数	2単位	
<b>【授業の目的】</b>						
本授業では、カリキュラムポリシーにある「社会的課題を解決することができるビジネスの手法」を身に着けるための基礎として、現代の経済社会の本質を理解することを目的とし、その対象として日本経済の現状や問題点等について論じていく。						
<b>【授業の到達目標】</b>						
新聞やTV、ネットメディア等を含めた様々な経済情報（ニュース）について把握・理解し、自分なりの見解を示せる程度の知識を身につけることが目標となる。						
<b>【授業の概要】</b>						
現代の日本経済について、「経済成長」や「景気動向」、「雇用情勢」、「産業構造」、「日本型企業経営」等について解説していく。						
<b>【授業計画と準備学修】</b>						
第 1回 オリエンテーション／はじめに						
○事前学修 日本経済が直面する課題について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 2回 日本経済の概観						
○事前学修 GDP（国内総生産）について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 3回 経済成長①						
○事前学修 戦後の日本経済について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 4回 経済成長②						
○事前学修 近年（2000年代以降）の日本経済について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 5回 経済成長③（映像資料の視聴を予定）						
○事前学修 経済成長①および②の内容を復習しておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 6回 景気						
○事前学修 景気について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 7回 雇用情勢と日本型雇用①						
○事前学修 景気と雇用の関係について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 8回 雇用情勢と日本型雇用②						
○事前学修 近年の日本の雇用情勢について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 9回 産業構造の変化と日本型企業経営の行方①						
○事前学修 戦後日本の産業構造の変遷について、簡単に調べておく。						
○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						

<p>第10回 産業構造の変化と日本型企业経営の行方②</p> <p>○事前学修 リーディング産業について、簡単に調べておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第11回 産業構造の変化と日本型企业経営の行方③</p> <p>○事前学修 日本型企业経営の特徴について、簡単に調べておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第12回 産業構造の変化と日本型企业経営の行方④</p> <p>○事前学修 コーポレート・ガバナンスについて、簡単に調べておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第13回 日本経済と政府の役割（財政・税など）①</p> <p>○事前学修 日本財政の現状について、簡単に調べておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第14回 日本経済と政府の役割（財政・税など）②</p> <p>○事前学修 日本財政の課題について、簡単に調べておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第15回 まとめ</p> <p>○事前学修 これまでの講義内容について質問があれば、それをまとめておく。</p> <p>○事後学修 期末試験に備えて、これまでの内容を総合的に復習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書・参考資料等】</p> <p>小峰隆夫・村田啓子『最新 日本経済入門[第5版]』日本評論社・2016年</p>	
<p>【成績評価の方法等】</p> <p>期末試験（70%）、小テスト（10%）、授業への取り組み（20%）で評価する。</p>	<p>評価が「合」</p>
<p>【履修要件等】</p>	

区 分	まちづくり科目	担当教員	西手 満昭			
授業科目	地域経済論				授業形態	
英 訳	Regional Economics				単独	
配当年次	2年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
<b>【授業の目的】</b>						
戦後日本の地方都市及び農山漁村の変貌過程を、それに圧倒的な影響を与えてきた資本主義構造の特殊性を踏まえて理解し、カリキュラムポリシーにある「地域が抱える課題やその解決策を提示することができる力」の基礎の修得を目的とする。						
<b>【授業の到達目標】</b>						
戦後日本の地方都市及び農山漁村の衰退は単にそれぞれの地域の問題のみならず、20世紀以降の世界と日本の政治・経済の大きなうねりの中で起こっている。本授業の到達目標は、このような問題について受講生なりの判断ができる水準まで理解を深めることにある。						
<b>【授業の概要】</b>						
戦後日本の地方都市及び農山漁村の衰退について、世界の資本主義の展開との関連で議論を進め、その中で地方・地域経済の中核的存在である農業が抱える問題を解き明かす。と同時に、農業と地方・地域経済再生をめぐる1980年代に活躍した研究者がどのように捉えたかについて批判的に検証する。						
<b>【授業計画と準備学修】</b>						
第 1 回 保志恂の地域経済論・日本資本主義論についての概説（総論）。 ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 2 回 保志恂の地域経済論・日本資本主義論についての概説（保志恂の日本資本主義の捉え方）① ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 3 回 保志恂の地域経済論・日本資本主義論についての概説（保志恂の日本資本主義の捉え方）② ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 4 回 保志恂の地域経済論・日本資本主義論についての概説（保志恂の農業論・地域経済再生論）① ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 5 回 保志恂の地域経済論・日本資本主義論についての概説（保志恂の農業論・地域経済再生論）② ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 6 回 田代洋一の地域農業再建論についての概説（総論） ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						
第 7 回 田代洋一の地域農業再建論についての概説（農民自治論）① ○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。 ○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。						

<p>第 8回 田代洋一の地域農業再建論についての概説（農民自治論）②</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第 9回 田代洋一の地域農業再建論についての概説（担い手論）①</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第10回 田代洋一の地域農業再建論についての概説（担い手論）②</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第11回 磯辺俊彦の地域農業再建論についての概説（総論）</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第12回 磯辺俊彦の地域農業再建論についての概説（高度経済成長と日本農業）①</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第13回 磯辺俊彦の地域農業再建論についての概説（高度経済成長と日本農業）②</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第14回 磯辺俊彦の地域農業再建論についての概説（高度経済成長と日本農業）③</p> <p>○事前学修 テキストの該当箇所を一読しておく。</p> <p>○事後学修 授業内容を復習し、まとめる。</p>	
<p>第15回 まとめ</p> <p>○事前学修 これまでの講義内容について質問があれば、それをまとめておく。</p> <p>○事後学修 期末試験に備えて、これまでの内容を総合的に復習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>磯辺俊彦ほか編著『変革の日本農業論』日本経済評論社・1986年</p>	
<p>【参考書・参考資料等】</p> <p>なし</p>	
<p>【成績評価の方法等】</p> <p>期末試験（70%）、小テスト（10%）、授業への取り組み（20%）で評価する。</p>	<p>評価が「合」</p>
<p>【履修要件等】</p>	

区 分	専門基礎科目	担当教員	番匠 健一			
授業科目	社会学特論Ⅱ					授業形態
英 訳	Advances Studies in Sociology Ⅱ					単独
配当年次	3 年次 後 期	必選別	選 択	単位数	2 単位	
<b>【授業の目的】</b>						
2年次までの社会学の基礎を踏まえて、「地域」と「まちづくり」をテーマに社会学的な考察を深める。						
<b>【授業の到達目標】</b>						
社会学的な理論をつかって、具体的な地域の現場を考えることを目標とする。						
<b>【授業の概要】</b>						
21世紀という新しい時代に入り、この世界の在り方が大きな転換をむかえている。グローバリゼーションという言葉でくくられている一連の状況のもとで、一国民国家内部の地域社会の構造が大きく変容を迫られている。この講義では、新自由主義的改革や災害復興政策、世界的な人の移動、産業の変化によって揺れ動く地域の在り方を考える。						
具体的なトピックとしては、災害復興と「復興災害」（阪神淡路大震災と3. 11）、地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）、地域社会の生存戦略（農林漁業と軍事基地・原発）などの具体的な事例を紹介する。						
<b>【授業計画と準備学修】</b>						
第 1 回 イン트로ダクション						
○事前学修 シラバスの「授業目的」「到達目標」「概要」を読んでおくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						
第 2 回 災害復興と「復興災害」（阪神淡路大震災と3. 11）①						
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						
第 3 回 災害復興と「復興災害」（阪神淡路大震災と3. 11）②						
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						
第 4 回 災害復興と「復興災害」（阪神淡路大震災と3. 11）③						
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						
第 5 回 災害復興と「復興災害」（阪神淡路大震災と3. 11）④						
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						
第 6 回 地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）①						
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。						
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。						

第 7回 地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）②  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第 8回 地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）③  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第 9回 地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）④  
○事前学修 これまでの授業で学んだことを振り返り、自分なりの意見をまとめておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第10回 地域の観光地化（ボーダーツーリズム、植民地の記憶観光、ダークツーリズム）⑤  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第11回 地域社会の生存戦略（農林漁業と軍事基地・原発）①  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第12回 地域社会の生存戦略（農林漁業と軍事基地・原発）②  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第13回 地域社会の生存戦略（農林漁業と軍事基地・原発）③  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第14回 地域社会の生存戦略（農林漁業と軍事基地・原発）④  
○事前学修 授業のテーマに関するニュースや事件・問題を新聞やネット等で調べておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

第15回 振り返りとまとめ  
○事前学修 これまでの授業で学んだことを振り返り、自分なりの意見をまとめておくこと。  
○事後学修 授業で使用された用語や解説を確認しておくこと。

期末試験

【テキスト】

特に指定しない。授業で使用する教材となる資料やテキストは配布する。

【参考書・参考資料等】

塩崎賢明『復興<災害>——阪神・淡路大震災と東日本大震災』岩波書店  
古川美穂『東北ショックドクトリン』岩波書店  
山内明美『こども東北学』イーストプレス  
岩下明裕『入門 国境学 領土、主権、イデオロギー』中公新書  
山下晋司『観光人類学の挑戦 「新しい地球」の生き方』講談社  
井出明『ダークツーリズム 悲しみの記憶を巡る旅』幻冬舎新書



風来堂『ダークツーリズム入門 日本と世界の「負の遺産」を巡礼する旅』イーストプレス  
新倉裕史『横須賀、基地の街を歩きつづけて：小さな運動はリヤカーとともに』七つ森書館  
中嶋久人『戦後史のなかの福島原発：開発政策と地域社会』大月書店  
大門正克、岡田知弘ほか『「生存」の歴史と復興の現在』大月書店

**【成績評価の方法等】**

毎回のコメントペーパー（40%）、レポート課題提出(30%)、授業への取り組み(30%)

評価が「合」

**【履修要件等】**

出席するだけでなく、毎回の授業内容を踏まえてコメントペーパーを「しっかり」書く。  
レポートは、ガイダンスで指示するように出典を明記し、学術的観点から作成する。